7B22　7B32

BSB7B22-A0505

セイコーウオッチ株式会社　http://www.seiko-watch.co.jp/

お客様相談窓口 全国フリーダイヤル 0120-612-911（下記の最寄地に着信いたします）

お客様相談室	
東京	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10
大阪	〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24　大阪四ツ橋新町ビルディング 8階
お客様相談係	
札幌	〒060-0061 札幌市中央区南一条西 7-20-1 札幌スカイビル 4階 セイコーサービスセンター内
福岡	〒810-0801 福岡市博多区中洲 5-1-22　松月堂ビル 6階 セイコーサービスセンター内

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

C

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にて承っておりますが、その他のお店では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください

警 告

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、
ただちに医師とご相談ください。

次のような場合、ご使用を中止してください

警 告

○ 時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合
○ バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください

注 意

○ 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品・防虫剤・シンナーなど）
○ 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ　○ 高湿度なところ
○ 磁気や静電気の影響があるところ　○ ホコリの多いところ
○ 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

注 意

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医に相談してください。

その他のご注意

注 意

○ 提げ時計やペンダント時計のひもやチェーンが衣類や手・首などを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

○ 商品の分解・改造はしないでください。

○ 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

目 次

操作について

特長 ―― 6
製品仕様 ―― 8
ご使用にあたって ―― 9
ご使用になる前に ―― 12
各部の名称とはたらき ―― 16
ネジロックリュウズについて ―― 17
ご使用方法 ―― 18
電波が受信できない場合の使いかた ― 27
電波（修正）時計とは ―― 31
時差修正について ―― 35
針位置自動修正機能について ―― 38
使用電源について ―― 39
異常な動きになった場合 ―― 40
（システムリセットについて）

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて ―― 42
保証について ―― 44
お手入れについて ―― 46
防水性能について ―― 48
耐磁性能について ―― 52
バンドについて ―― 54
こんなときには ―― 56

操 作 に つ い て

特長

この時計は、標準電波を受信して正確な時刻やカレンダー表示をする電波修正機能を持っています。文字板の下にあるソーラセルが、受けた光を「電気エネルギー」に換え時計を駆動させます。また、ある一定時間光が当たらないと、時計の消費電力を抑えるパワーセーブ機能、磁気等の外部影響により時刻がずれた場合でも自動補正する「針位置自動修正機能」を搭載しています。

● **電波修正機能（2局自動選択受信）**・・・・・・・・・毎日、自動的に標準電波（JJY）を受信し、時刻を修正します。40kHz（福島局）と60kHz（九州局）を自動的に選択し、受信します。強制受信も可能です。

● **受信結果表示機能**・・・・・・受信（自動または強制受信）の受信結果を表示できます。前回の受信が成功している場合は秒針が「10秒」位置を示します。前回の受信に失敗している場合は秒針が「20秒」位置を示します。

● **受信レベル表示機能**・・・・強制受信中、受信状況に応じた電波受信レベルを秒針により表示します。受信レベルが高いときは秒針が「50秒」位置を示します。受信レベルが低いときは秒針が「40秒」位置を示します。受信できない場合は秒針が「20秒」位置を示します。

● **針位置自動修正機能**・・・・・外部影響等で時刻がずれた場合、針位置を自動的に修正します。

● **時差修正機能**・・・・・・・・・時差のある地域へ旅行する際に、時差の設定ができます。

● **充電機能**・・・・・・・・・・・・光を「電気エネルギー」に換え、二次電池に充電します。フル充電で約6ヶ月動きつづけます。

● **パワーセーブ機能**・・・・・・光があたらない時間が72時間以上継続した場合に作動する「パワーセーブ1」と、一定の充電量を下回った場合に作動する「パワーセーブ2」の消費電力を抑える機能をもっています。

製品仕様

1. 水晶振動数・・・・・・・・・・・32,768Hz（Hz＝1秒間の振動数）
2. 精度・・・・・・・・・・・・・・・・平均月差±15秒（電波受信による時刻修正が行われない場合、かつ気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3. 作動温度範囲・・・・・・・・・・ー10℃～＋60℃
4. 駆動方式・・・・・・・・・・・・・ステップモーター式（時・分針）
   ステップモーター式（秒針）
   ステップモーター式（カレンダー）
5. 使用電源・・・・・・・・・・・・・二次電池：1個
6. 持続時間・・・・・・・・・・・・・約6ヶ月（フル充電で、パワーセーブが作動しない場合）
   ※フル充電をした状態からパワーセーブが作動した場合は最大約1.5年
7. 電波受信機能・・・・・・・・・・自動受信（午前2時、4時。受信状況によって異なる）
   ※受信から次の受信まではクオーツの精度で動きます。
   強制受信機能付き。
8. 電子回路・・・・・・・・・・・・・発振、分周、駆動、受信回路：IC　3個

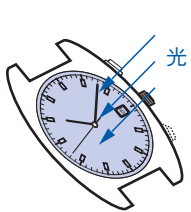
※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

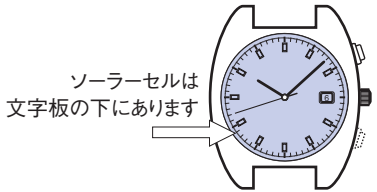
ご使用にあたって

●充電のしかた

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルが受けた光を「電気エネルギー」に換え二次電池に蓄え、そのエネルギーを利用し時計を駆動させていますので、快適にご使用いただくためには、十分な充電をすることをお勧めします。充電の際は、下図のように文字板（ソーラーセル）に光を当ててください。

※使い始め、または充電不足で停止している時計を動かす場合は、十分な充電を心掛けてください。





⚠ご注意

（充電時のご注意）
・充電の際、写真証明ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計体が高温になり内部の部品等が損傷を受ける恐れがありますのでご注意ください。
・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となりますので、ご注意ください。
・時計体が60℃以上にならないようにしてください。

●充電所要時間の目安

照度lx（ルックス）	光源	環境（目安）	フル充電までの充電所要時間	確実に1秒運針になるまでの充電所要時間★	1日動かすために必要な充電所要時間
500	白熱球	60W　60cm	–	–	5時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	–	–	3時間
1000	蛍光灯	30W　70cm	–	120時間	2時間
3000	蛍光灯	30W　20cm	90時間	30時間	30分
5000	蛍光灯	30W　12cm	70時間	24時間	24分
1万	蛍光灯	30W　5cm	25時間	8時間	9分
1万	太陽光	曇天	25時間	8時間	9分
10万	太陽光	快晴（夏の日直射日光下）	8時間	2時間	3分

※左記の表の数値は、目安としてご使用ください。
★この欄にある数値は、止っていた時計に光をあて、「2秒運針」、「5秒運針」から脱し、「確実な1秒運針」になるまでに必要となる充電所要時間です。
この所要時間まで充電しなくても、1秒運針になりますが、その状態では、すぐに「2秒運針」になる場合もありますので、この時間を目安に充電してください。
※左記の充電に必要な時間の目安は、モデルによって若干異なります。

〈過充電防止機能について〉
文字板の下にあるセルが、受けた光を「電気エネルギー」に換え、二次電池に蓄積されます。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように自動的に過充電防止機能がはたらきます。よって、「フル充電までの充電所要時間」を超えて充電しても時計が破損することはありませんのでご安心ください。

ご使用になる前に

時計の運針状態を下記手順に沿って確認をしていただいた後のご使用をお勧めします。
※電波時計を快適にご使用いただくには、常に充電を心掛けてご使用していただくことをお勧めします。

まず、秒針の動きを確認してください。

秒針が1秒毎、動いている。 → 充電量は、一定以上あると思われます。「■ご使用方法」に進み次の操作をしてください。

秒針が2秒運針している。
秒針が5秒運針している。
秒針が停止している。
→ 充電量が不足しています。「■ご使用にあたって」を参照に、十分な充電をしてください。

充電量終了後

●2秒運針・パワーセーブ・5秒運針について

この電波時計は、秒針の動きによって充電状態を確認できます。

〈携帯中に2秒運針になった時〉
・エネルギー切れ予告機能がはたらくと、「2秒運針」になります。さらにその状態が継続すると「秒針が5秒運針」その後、時計が停止しますので、「●充電所要時間の目安」を参照に十分充電をしてください。
※「2秒運針」では、ボタン・リュウズ操作ともできませんが、故障ではありませんので、注意してください。

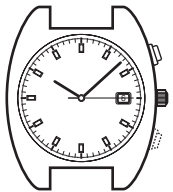
〈パワーセーブになった時〉
光があたらない状態では、無駄なエネルギーの消費を防止するパワーセーブ機能が自動的に作動します。

・光があたらない状態が72時間以上継続した場合、「パワーセーブ1」に入ります。「パワーセーブ1」では、秒針が15秒位置で停止します。時・分・カレンダーも停止していますが、自動受信は行っております。
現在時刻に戻すには5秒以上光をあててください。

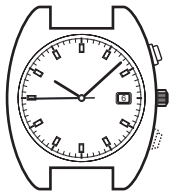
・充電不足の状態が継続し、ある一定の充電量を下回ると、さらにエネルギーの消費を防止する「パワーセーブ2」が自動的に作動します。「パワーセーブ2」では秒針が45秒位置へ移動し、自動受信機能は中止します。「パワーセーブ2」状態になったら、ただちに充電が必要です。

※充電中は、「5秒運針」になります。

※「パワーセーブ2」が長時間継続すると、電源が低下し内部時刻が失われます。この場合は、充電完了後（照度によっては、長時間かかる場合があります。）AM　12:00から運針を開始しますので、「■ご使用方法（時刻・カレンダーの合わせかた）」を参照に時刻・カレンダー合わせをしてください。



パワーセーブ1状態



パワーセーブ2状態

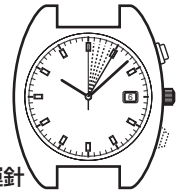
〈5秒運針になった時〉

・充電不足の状態では5秒運針になります。
「5秒運針」（時・分・カレンダーは停止しています。）になったら、ただちに充電が必要です。「●充電所要時間の目安」を参照に十分な充電をしてください。

※「5秒運針」では、ボタン・リュウズ操作ともできませんが、故障ではありませんので、注意してください。

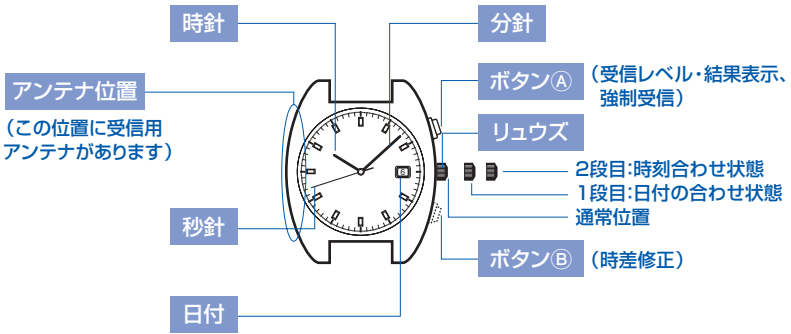
※「5秒運針」では、自動受信機能は中止していますので、通常運針へ移行したら、「強制受信」で正確な時間に合わせることをお勧めします。

※光が十分にあたらない環境で「5秒運針」が長時間継続すると、電源が低下し内部時刻が失われます。この場合は、充電完了後（照度によっては、長時間かかる場合があります。）AM　12:00から運針を開始しますので、「■ご使用方法（時刻・カレンダーの合わせかた）」を参照に時刻・カレンダー合わせをしてください。



5秒運針

各部の名称とはたらき



※ボタンⒷは誤入力防止のため、ケースに埋め込まれています。操作のためには先が細いものをご使用ください。

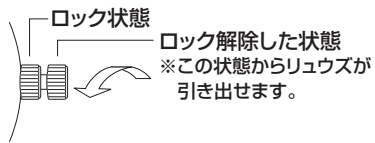
ネジロックリュウズについて

・操作しない時に、リュウズをネジでロックできる構造のモデルがあります。
・ロックすることで誤操作の防止や防水性の向上が図られます。
・操作をするときはロックを解除し、操作が終わったらロックしておいてください。

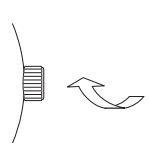
●ネジロックリュウズの操作方法

・リュウズを操作する際に、ロックを解除する必要があります。
※リュウズ操作する時以外は、常にロック状態にしておいてください。

【ロック解除のしかた】
リュウズを左に回してください。
ネジがゆるんでリュウズが操作できるようになります。



【ロックのしかた】
リュウズ操作が終わったら、リュウズをケースに押しつけながら、右に止まるところまでしっかりネジ込んでください。



ご使用方法（時刻・カレンダーの合わせかた）

・この時計は標準電波を受信して正確な時刻を表示することが出来ます。
ご購入後お使いになる前に、標準電波を受信してからご使用ください。
・「●ご使用になる前に」を参照に確実に秒針が1秒毎、動いている状態で以下の操作をしてください。

操作全体の流れ

1. カレンダーの基準位置合わせ
↓
2. 強制受信
↓
3. 受信結果を確認
↓
受信成功確認 ご使用開始

※受信が成功しなかった場合は、受信環境を変えて強制受信をするか「●電波が受信できない場合の使いかた」をお読みください。

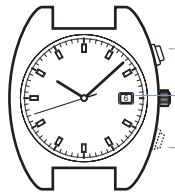
●カレンダーの基準位置の合わせかた（基準位置合わせ）

標準電波から得た日付情報を正確に表示するために「カレンダーの基準位置」合わせが必要です。

※充電不足の状態で、基準位置合わせを行うと「5秒運針」になることがあります。
その場合は、「●充電所要時間の目安」を参照に十分な充電をした後、操作してください。
※カレンダーの基準位置は「1日」です。

①ボタンⒶ、ボタンⒷを同時に3秒以上押してください。（リュウズ位置は、通常位置）

※時・分・秒針は停止します。



ボタンⒶ

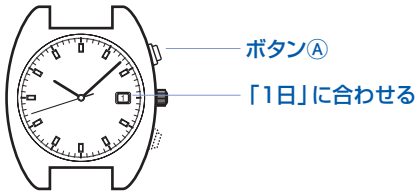
現在設定されている基準位置を示します。

ボタンⒷ

※この状態で8秒以上操作がないと、通常運針に戻りますのでご注意ください。

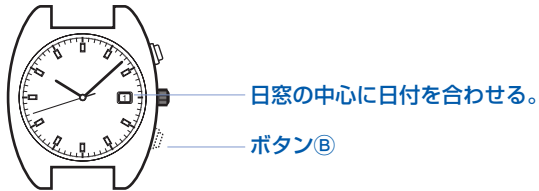
②基準位置が「1日」でない場合は以下の方法で合わせてください。
ボタンⒶを押して日付を基準位置の「1日」に合わせてください。

※ボタンⒶを1回押す毎に1日分、日付を送ります。
※ボタンⒶを1〜2秒、押し続けると連続送り（最大31日分送り）を開始します。再度、ボタンⒶを押すと停止します。
※「31日」で停止させ、日付と窓位置を確認してください。ずれている場合は手順③で微調整をしながら「1日」合わせることをお勧めします。



③ボタンⒷを押して、日付と日窓の位置を微調整してください。（日付と窓位置がずれていた場合のみ）

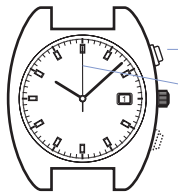
※ボタンⒷを押し続けると連続送りを開始します。押し続けてる間は連続送りをし、離すとその位置で停止します。



④日付を「1日」に合わせたら、ボタン操作終了時から8秒後に、通常運針になります。

●強制受信のしかた

①ボタンⒶを3秒以上押し続けてください。



ボタンⒶを3秒以上押し続ける

秒針が「0秒」位置に早送りして停止します。

※ボタンⒶ押しが3秒以下の場合、「受信結果表示」機能がはたらき、秒針が「10秒位置」または「20秒位置」を示します。この場合は秒針が通常運針になってから、再度、ボタンⒶを3秒以上押してください。

②この状態で受信状態になりますので、電波が受信しやすい場所に置いてください。（例、窓際で他の電子機器の影響のない場所）受信中の時分針は通常の運針とは異なります。

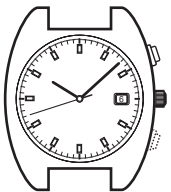
※通常受信には約2分～約12分かかります。（環境によって異なります。）
※受信しやすい環境については、「■電波（修正）時計とは」をご参照ください。
※受信状態でボタンⒶを押すと、強制受信を中止しますので押さないでください。

★強制受信中は受信状態表示機能がはたらきます。
・強制受信開始約1分後（状況によって異なります）、標準電波の受信レベルを秒針が表示します。（受信レベルハイ:H　受信レベルロー:L　受信できないレベル:N）
・全部で3種類のレベル表示があります

	受信レベル表示		
レベル	受信レベルハイ	受信レベルロー	受信できないレベル
表示方法	H 「50秒位置」に移動	L 「40秒位置」に移動	N 「20秒位置」に移動
説明	受信レベルが比較的高い状態を示しています。受信が成功する可能性が高い環境にあります。	受信レベルが低い状態を示しています。受信できない場合もあります。	受信できない環境にあることを示します。 強制受信を中止します。

※受信環境によっては「受信レベルハイ」を表示しても受信成功しない場合があります。あくまでも目安とお考えください。
※受信レベル表示 H＝High, L＝Low, N＝Noの略

③受信が終了すると、時、分、秒針およびカレンダーが早送りして時刻表示に戻ります。



※電波が正しく受信できない環境にある場合、一定時間受信を継続した後自動的に受信を中止します。受信継続時間は環境等によって異なりますが、最大約12分です。受信を中止した場合、受信前の時刻に基づく表示に戻ります。(→「■電波(修正)時計とは」を参照ください)

④ボタンⒶを押して、受信結果を確認してください。

●受信結果表示について

・通常運針中にボタンⒶを押すと、受信結果を表示します。
・最後に行なった受信(自動受信または強制受信)の結果を示します。

(受信成功:Y　受信失敗:N)

	受信結果表示	
結果	受信成功	受信失敗
表示方法	Y「10秒位置」に移動	N「20秒位置」に移動
説明	前回の受信が成功したことを示しています。	前回の受信が失敗したことを示しています。

※秒針は約5秒間表示後、自動的に通常運針に戻ります。
　また受信結果表示中にボタンⒶを押しても通常運針に戻ります。
※受信結果表示 Y=Yes, N=Noの略

●自動受信について

・標準電波が受信しやすいとされる時間帯（午前2時、4時）に自動的に受信します。
・自動受信中は、秒針が0秒位置に止まります。

※自動受信の時間帯は、時計を受信しやすい場所に置いてください。
→「■電波（修正）時計とは」を参照ください。
※自動受信中にボタンⒶを押すと、受信を中止します。

電波が受信できない場合の使いかた

標準電波が受信できない環境で使用したい場合、手動で時刻、カレンダーの合わせができます。

●時刻合わせ（手動合わせ）

①リュウズを2段目に引き出してください。
※秒針が12時位置で停止します。

②ボタンⒶを押して、時刻を合わせてください。
※1回押しで1分、押し続けると連続送り（最大12時間分）を開始します。
再度、ボタンⒶを押すと停止します。
※カレンダーも時刻と連動しますので、午前・午後に注意し時刻合わせをしてください。

③時報と同時にリュウズを押し込んでください。
※時報サービス117が便利です。

●カレンダーの合わせかた（手動合わせ）

①リュウズを1段目にしてください。

※リュウズ2段目へ引き出さないようご注意ください。

②ボタンⒶを押して日付を合わせてください。

※ボタンⒶを1～2秒、押し続けると連続送り（最大31日分送り）を開始します。再度、ボタンⒶを押すと停止します。

③日付を合わせたら、リュウズを押し込んでください。

この時計は、標準電波（JJY）を受信できる環境での使用目的に作られております。
手動による時刻合わせでのご使用はあくまでも暫定的なご使用としてお考えください。
標準電波を受信して使用されることをお勧めします。
尚、手動で時刻を合わせた場合でも、一定時間毎に標準電波を受信していますので、受信成功後、正確な時刻・カレンダーを表示します。（日付を正しく表示させるためには、カレンダー基準位置合わせが必要です。）

●いつも受信結果が「受信失敗」を表示する場合

・「■電波（修正）時計」とは」の内容をよくお読みいただき、強制受信をすることをお勧めします。
（→「●強制受信のしかた」を参照）

電波（修正）時計とは

●電波修正機能とは

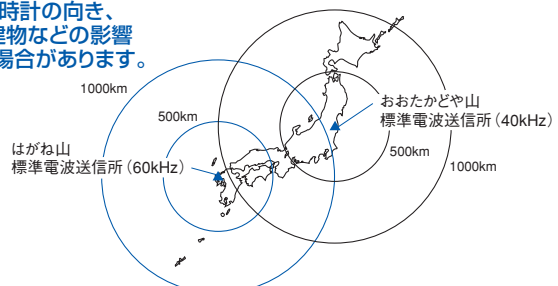
・正確な時刻およびカレンダー情報等をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻等を表示する機能です。

●標準電波（JJY）とは

・情報通信研究機構が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2箇所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
福島局（おおたかどや山:40 kHz）　　九州局（はがね山:60 kHz）
・標準信号の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信について

・各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件にも異なりますがおおむね1,000kmです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz（福島送信所）、西日本地区は60kHz（九州送信所:福岡と佐賀の県境）の電波が受信しやすいと想定されます。
・ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物などの影響によって、受信できない場合があります。

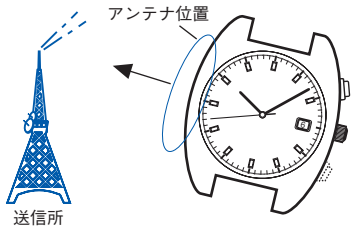


⚠ご注意

・電波障害等により、誤った受信をした際は、誤った時刻を表示する場合があります。
また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、受信を行なう場所を変えてお使いください。
・受信できない場合は、クオーツの精度で動きます。
・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波することがあります。
停波に関する情報は、情報通信研究機構（日本標準時グループ）のホームページ（http://jjy.crl.go.jp/）をご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。

●ご使用場所

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。受信の際はできるだけ電波を受けやすい窓際などに置いてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。



地図を参照に、近い送信所のある方向に9時位置のアンテナ部を向けるとより良い受信環境になります。
自動受信開始時刻（午前2時、4時）には、受信しやすい場所に時計を置くよう心掛けましょう!

※安定した受信をするために、受信中は時計を動かさないでください。

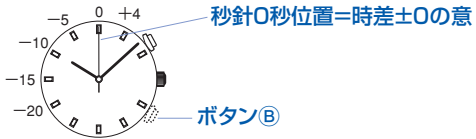
その他、次のような環境下では正確に受信できないことがあります。

a）ビルの中、ビルの谷間、地下。
b）高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
c）テレビ、冷蔵庫、エアコン、携帯電話、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
※照明器具等を使用して充電している時には、これらの器具の影響で受信できないことがあります。
d）工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い場所など、電波障害の起きる場所。
e）乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
f）スチール机等の金属製の家具の上や近く。

時差修正について

・日本時間と時差のある地域へ行った際、現地の時刻に合わせることができます。この時、現地の日付に自動的に合います。秒針は、設定されている時差をインジケーター表示します。
※2秒運針、5秒運針中は、時差修正はできません。

①ボタンⒷを押してください。秒針が時差をインジケータ表示します。



②ボタンⒶを押す毎に秒針が1秒、時・分針が1時間進み、ボタンⒷを押す毎に秒針も1秒戻り、時・分針が1時間戻ります。
※0秒位置（12時位置）が日本時間になります。日本時間に対し＋4時間～－20時間まで設定できます。
※時差設定中は、受信（自動および強制）を行いません。

③早送りが終了して5秒後に通常運針を開始します。

●日本時間との時差について

※都市名・秒針インジケーター位置と時差は以下のとおりです。

都市名	秒針インジケーター位置	日本時間との時差
ウエリントン★	3秒位置	＋3時間
ヌメア	2秒位置	＋2時間
シドニー★	1秒位置	＋1時間
東京	0秒位置（12時位置）	±0時間
香港	59秒位置	－1時間
バンコク	58秒位置	－2時間
ダッカ	57秒位置	－3時間
カラチ	56秒位置	－4時間
ドバイ	55秒位置（11時位置）	－5時間
モスクワ★	54秒位置	－6時間
カイロ★	53秒位置	－7時間
パリ★	52秒位置	－8時間
ロンドン★	51秒位置	－9時間
アゾレス諸島★	50秒位置（10時位置）	－10時間
リオデジャネイロ★	48秒位置	－12時間
カラカス	47秒位置	－13時間
ニューヨーク★	46秒位置	－14時間
シカゴ★	45秒位置（9時位置）	－15時間
デンバー★	44秒位置	－16時間
ロサンゼルス★	43秒位置	－17時間
アンカレッジ★	42秒位置	－18時間
ホノルル	41秒位置	－19時間
ミッドウエイ島	40秒位置（8時位置）	－20時間

★…サマータイム有り

※各都市の時差、およびサマータイムは国または地域の都合により変更する場合があります。

針位置自動修正機能について

この時計は、一定時間毎に針位置をチェックし、ずれている場合は、自動的に修正します。
通常、秒針は1分毎、時・分針は12時間毎行います。

〈こんな時に役立ちます〉
・強い衝撃を受けて針位置がずれた場合
　落としたり、強くぶつけたことにより、針位置がずれることがあります。
　この場合も自動的に針位置を修正します。
・磁気の影響により針位置がずれた場合
　携帯電話や音響機器スピーカーなどの磁気の影響で、針位置がずれることがあります。
　この場合も自動的に針位置を修正します。
・充電量がなくなり、時計が止ってしまった場合
　複雑な操作なしに、充電後すべての針の基準位置を自動的に修正します。

使用電源について

・この時計には、一般の電池とは、異なる専用の二次電池を使用しており、
　一般の酸化銀電池のように定期的な交換の必要はありません。
・この二次電池は、環境に対して影響の少ないクリーンなものです。

⚠ご注意

二次電池を交換の際は、この時計専用の二次電池をご使用ください。
一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、ご注意ください。
万が一組み込まれても、導通がとれない構造となっています。

異常な動きになった場合（システムリセットについて）

万が一異常な動きになった場合、または充分な充電を行なったが1秒運針にならない場合は以下の操作を行ってください。
時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットとその後のご使用方法について

①リュウズを2段目にしてください。
②ボタンⒶ、ボタンⒷを同時に3秒押して、はなしてください。
※時・分針が、早送りをした後、12時位置に停止します。
※充電不足の場合、12時位置になるのに時間がかかるので、「●充電の所要時間の目安」を参照に十分な充電をしてください。
③12時位置で針が停止したら、リュウズを通常位置に押し込み「■ご使用方法（時刻・カレンダーの合わせかた）」を参照に、時刻・カレンダー合わせをしてください。

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

修理用部品について

○ この時計の修理用部品の保有期間は通常7年間を基準としています。
○ 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

オーバーホール(分解掃除)について

時計は精密機械です。部品の油切れや磨耗により止まり遅れが生じることがあります。
その際にはオーバーホールをご依頼ください。

保証と修理について

○ 修理やオーバーホールの際は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
○ 保証期間内の場合は必ず保証書を添えてください。
○ 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

保証について

取扱説明書にそった正常な使用により、お買い上げ後1年以内に
不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

○ 時計本体（ムーブメント・ケース）及び金属バンドです。

保証の適用除外（保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります）

○ 皮革・ウレタン・布等のバンドの交換
○ 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
○ ご使用中に生じるキズ・汚れ等
○ 火災・水害・地震等の天災地変による故障及び損傷
○ 保証書記載項目の全てが記入された保証書のみが有効です。
故意に字句を書き換えた場合は規定の無償修理は受けられません。

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

保証を受ける手続き

○ 保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、
お買い上げ店にご依頼ください。
○ お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウオッチ株式会社
お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

その他

○ 修理の際、ケース・文字板・針・ガラス・バンド等は一部代替部品を使用する
場合があります。ご使用部品の保有期間は本取扱説明書（P.42）をご参照ください。
○ 金属バンド等の調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口に
ご依頼ください。上記以外の販売店での調整は有料になります。

お手入れについて

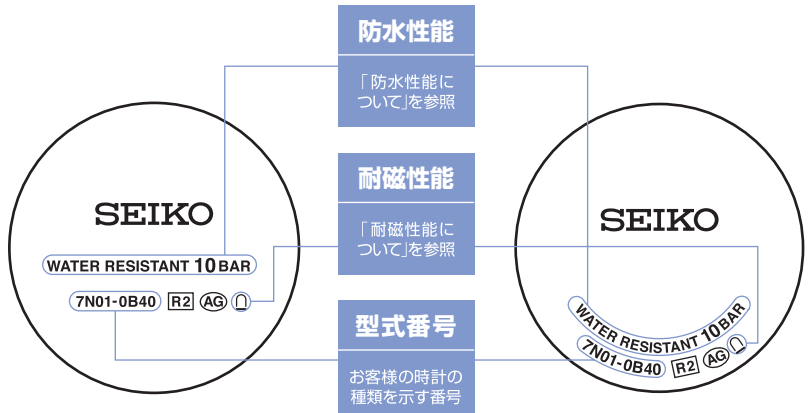
日頃からこまめにお手入れしてください

○ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
○ すきま（金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど）の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
○ 海水に浸けた後は、必ずためた真水でよく洗ってから拭き取ってください。

りゅうずは時々回してください

○ りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
○ ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引く必要はありません）

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。
（「P.47」をご覧ください）

裏ぶた表示	防水性能
表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。

お取扱方法
水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 ⚠ 警告 水泳には使用しないで下さい。
水泳などのスポーツに使用できます。
空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

⚠ 警告

この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい

BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用下さい。

⚠ 注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。

水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないで下さい

時計内部に水分が入ることがあります。

⚠ 注意

水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。

入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。

直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

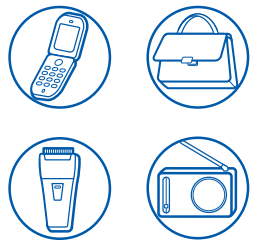
耐磁性能について（磁気の影響）

アナログクオーツ時計は、身近にある磁気の影響を受け、
時刻が狂ったり止まったりします。

※磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。時刻を合わせ直してお使いください。

裏ぶた表示	お取扱方法
表示なし	磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。
∩	磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。（JIS水準1種）
⩋	磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。（JIS水準2種）

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話（スピーカー部）
バッグ（磁石の止め金）
交流電気かみそり
携帯ラジオ（スピーカー部）
電磁調理器
磁気健康バンド
磁気ネックレス
磁気健康マット
磁気健康枕
など

アナログクオーツ時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、
外からの強い磁力で互いに影響し合い、
モーターを止めたり、無理に回転させてしまうためです。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。
そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入が必要です。

金属バンド

- ○ ステンレスバンドも水・汗・汚れをそのままにしておくとさび易くなります。
- ○ 手入れが悪いとかぶれやワイシャツの袖口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ○ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布で取り除いてください。
- ○ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシ等で取り除いてください。
  （時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう）

皮革バンド

- ○ 水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ○ 水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。
- ○ 直接日光にあたる場所に放置しないでください。
- ○ 色味の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。

ポリウレタンバンド

- ○ 光で色が褪せたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ○ 特に半透明や、白色、淡色のバンドは、他の色を吸着し易く、また変色をおこします。
- ○ 汚れたら水で洗い、乾いた布で良く拭き取ってください。
  （時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう）
- ○ 弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れもしくはバンドとのすれなど不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズの目安について	バンドは多少余裕をもたせ通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
秒針が2秒運針をしている	充電した電気エネルギーが残り少なくなった。	1日以内に5秒運針に移行する可能性がありますので、「●充電所要時間の目安」を参照に充電してください。
毎日携帯しているが、たびたび2秒運針をみることがある。	時計が、衣類の袖の中に隠れているなど、十分な光があたっていない。	携帯中はなるべく時計が袖などにかくれないようにしてください。また時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心掛けましょう。 ※時計が60℃以上にならないように気をつけてください。
秒針が5秒運針をしている	充電不足の状態です。	ただちに、充電してください。→詳しくは「■ご使用になる前に」を参照
秒針が15秒位置または45秒位置に停止している状態から動きだした。	無駄なエネルギーの消費を抑えるため、パワーセーブ機能が作動していた。	秒針が「5秒運針」の場合は、ただちに充電してください。 →詳しくは「■ご使用になる前に」を参照
受信できない。 受信結果表示が「受信失敗」になる	受信中の時計の向きが送信所の方向を向いていない。	受信中の時計の向きを変えてみてください。　→詳しくは「■電波（修正）時計とは」を参照
	標準電波（JJY）送信所の都合で停波している。	停波に関する情報は、情報通信研究機構のホームページ（http://jjy.crl.go.jp/）をご覧ください。
	自動受信時間帯に時計を置いている場所の電波が弱い、または電波の届かない環境下にある。 標準電波を受信できていない。	受信結果を確認し「受信失敗」の場合は、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。 また、自動受信時間帯（午前2時、4時）に時計を置いている場所を変えてみましょう。

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が一時的に進む／遅れる	ノイズ等の影響で間違った時刻を受信した。（誤受信）	ノイズを発生するものから遠ざけ、標準電波をより受信しやすい環境で強制受信してください。
	暑いところ、または寒いところに放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。必要に応じて強制受信をしてください。元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
	磁気や衝撃による影響で針位置がずれた。	針位置自動修正機能がはたらき、自動的に修正されます。→詳しくは「■針位置自動修正機能について」を参照
「受信結果表示」や「受信レベル表示」で秒針が示す位置がずれている	秒針の基準位置がずれている。	針位置自動修正機能がはたらき、自動的に修正されます。→詳しくは「■針位置自動修正機能について」を参照 修正されない場合は、システムリセットをしてください。→詳しくは「■異常な動きになった場合」を参照 それでも元に戻らない場合は、お買上げ店にご相談ください。
受信結果表示が「受信成功」であるが、日付が正しくない。	磁気や衝撃等の影響でカレンダーの基準位置がずれている。	カレンダー基準位置合わせをしてください。→詳しくは「●カレンダーの基準位置の合わせかた」を参照
時刻が数時間単位でずれている。	時差修正が行われている。	時差の設定が不要の場合は時差を日本時間に戻してください。 →詳しくは「■時差修正について」を参照
強制受信ができない。	時差修正が行われている。	
ボタン・リュウズ操作ができない。	充電した電気エネルギーが残り少なくなり、2秒運針または5秒運針をしている。	充電してください。 →詳しくは「■ご使用になる前に」を参照

現象	考えられる原因	このようにしてください
止まってしまった時計に光をあて「フル充電までの充電所要時間」以上充電したが、1秒運針にならない。	あてる光が弱い、または充電中で光のあたりかたが変わった。	光のあたりかたが変わらないように、また充分な照度のある環境下で、充電をしてください。
	時計内部のシステムが不安定な状態になっている。	システムリセットをしてください。→詳しくは「■異常な動きになった場合」を参照
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買上げ店にご相談ください。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
For proper and safe use of your SEIKO watch,
please read carefully the instructions
in this booklet before using.

Keep this manual handy for easy reference.

※Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover). The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

⚠WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

WARNING

Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the battery or accessories.
If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.

WARNING

Immediately stop wearing the watch in following cases.

- ○ If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- ○ If the pins protrude from the band.

※Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).

⚠CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

CAUTIONS

Avoid the following places for wearing or keeping the watch.

- ○ Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
- ○ Places where the temperature drops below 5 ˚C or rises above 35 ˚C for a long time
- ○ Places of high humidity
- ○ Places affected by strong magnetism or static electricity
- ○ Dusty places ○ Places affected by strong vibrations

※ Do not leave a dead battery within the watch for a long time as leakage might occur.

CAUTIONS

If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist

CAUTIONS

Other cautions

- ○Note that there is a risk of damaging your clothes, hand or neck with the band, cord or chain of the pocket watch or pendant watch.
- ○ Do not disassemble or tamper with the watch.
- ○ Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

CONTENTS

HOW TO USE

FEATURES 68
SPECIFICATIONS 71
REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE 72
BEFORE INITIAL USE 76
DISPLAY AND BUTTON OPERATION 81
THE SCREW LOCK TYPE CROWN 82
HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR) 83
WHEN THE WATCH IS UNABLE TO RECEIVE RADIO SIGNALS (MANUL TIME SETTING) 93
WHAT IS A RADIO-CONTROLLED WATCH? 97
TIME ZONE ADJUSTMENT 101
AUTOMATIC HAND ALIGNMENT 105
POWER SOURCE 107
ABNORMAL DISPLAY OR IMPROPER FUNCTION (HOW TO RESET THE BUILT-IN IC) 108

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

After-sale service 110
Guarantee 112
Daily care 114
Water Resistance 116
Magnetic resistance (affect of magnetic field) 120
Band (maintenance procedure) 122
TROUBLE SHOOTING 124

HOW TO USE

FEATURES

This radio-controlled watch displays precise time by automatically receiving and synchronizing itself with the radio signal of the official standard frequency in Japan. A solar cell underneath the dial converts any form of light into "electrical energy" to power the watch. The watch also features a power save function, which is automatically activated when the watch is not exposed to adequate light for a certain period of time, to limit energy consumption, and an automatic hand alignment function that corrects hand alignment when the hand positions deviate and display incorrect time as a result of influence of external sources such as magnetism.

● **Automatic Time Setting (Automatic selection of either of two JJY-LF stations)** ··· The watch maintains precise time by automatically receiving and synchronizing itself with the official standard frequency and time transmitter, the JJY-LF radio signal.
The watch automatically selects either the JJY-LF:40kHz (Fukushima signal) or the JJY-LF:60kHz (Kyushu signal), whichever is strongest.
Manual reception is also possible.

● **Display of Radio Wave Reception Result** ··· Reception level (automatic or manual reception) can be confirmed following reception of radio waves.
When reception was successful, the second hand rapidly moves to the 10-second position.
When reception failed, the second hand rapidly moves to the 20-second position.

● **Display of Radio Wave Reception Level** ···· During the manual reception, the second hand indicates the reception level of radio signals.
When the reception level is high, the second hand points to the 50-second position.
When the reception level is low, the second hand points to the 40-second position.
When the watch is unable to receive radio signals, the second hand points to the 20-second position.

● **Automatic Hand Alignment** ····· When the hand positions deviate to display incorrect time as a result of influence of various external sources, the watch automatically corrects the hand alignment itself.

●Time Zone Adjustment ··The watch can be set to local time in a different time zone from Japan Standard Time.

●Rechargeable Battery····The watch converts any form of light into "electrical energy" and stores the power in a secondary battery. Once fully charged, the watch continues to run for approximately six months.

●Power Save ·····The watch is equipped with two power save modes to limit energy consumption; "the Power Save One" which is activated when the watch is left without an adequate light source for a period of time longer than 72 hours, and "the Power Save Two" which is activated when the amount of stored power falls below a certain level.

SPECIFICATIONS

1. Frequency of crystal oscillator ····· 32,768 Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
2. Loss/gain (monthly rate) ···· Less than 15 seconds (Except during automatic time setting, worn on the wrist within normal temperature range between 5℃ and 35℃.)
3. Operational temperature range ··· Between -10℃ and +60℃
4. Driving systems ····· Step motor (hour and minute hands)
   Step motor (second hand)
   Step motor (calendar)
5. Power source ····· Secondary battery, 1 piece
6. Duration of operation ····· Approximately 6 months (Fully charged, the Power Save not activated)
   ※If fully charged and the Power Save is activated, the watch continues to run for approximately one year and a half.
7. Time setting by receiving the JJY-LF radio signal ··· Automatic reception (between 2:00 AM and 4:00 AM, attempts of reception depends on radio wave receiving conditions)
   ※After having received the JJY-LF radio signal, the watch moves depending on the quartz movement until the next reception. Manual reception is also possible.
8. IC (Integrated Circuit) ····· Oscillator, frequency divider and driving circuit C-MOS-IC, 3 pieces

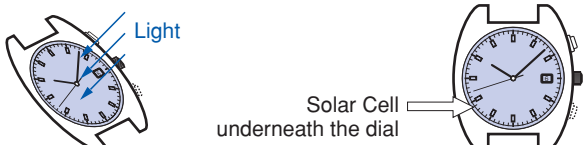
※The specifications are subject to change without prior notice for product improvements.

■REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE

●How to charge the watch

This watch is a solar-powered watch containing a solar cell underneath the dial to convert any form of light into “electrical energy” and store the power in a secondary battery.
To enjoy optimal performance of this watch, it is recommended that the watch be kept sufficiently charged at all times.
To charge the watch, expose the dial (solar cell) to adequate light as illustrated below.

※Before initially using the watch or when the watch has stopped as a result of complete depletion of stored power, charge the watch sufficiently.



⚠NOTICE

(Notes on charging the watch)
- When charging the watch, do not place the watch in close proximity to an intense light source such as lighting equipment for photography, spotlights or incandescent lights, as the watch may be excessively heated resulting in damage to its internal parts.
- When charging the watch by exposure to direct sunlight, avoid places that easily reach high temperatures, such as a car dashboard.
- Always keep the watch temperature under 60℃.

〈Overcharge prevention function〉

The solar cell underneath the dial converts light into “electrical energy” and stores the power in a secondary battery. When the secondary battery is fully charged, the overcharge prevention function is automatically activated to avoid further charging. There is no need to worry about damage caused by overcharging no matter how much the secondary battery is charged in excess of the “time required for fully charging the watch”.

●Standard charging time

Illumination (LUX)	Light source	Condition (Example)	Time required for fully charging the watch	Time required for charging the watch to start moving at one- second intervals ★	Time required for charging the watch to run for one day
500	Incandescent light	60W 60cm	—	—	5 hours
700	Fluorescent light	General offices	—	—	3 hours
1000	Fluorescent light	30W 70cm	—	120 hours	2 hours
3000	Fluorescent light	30W 20cm	90 hours	30 hours	30 minutes
5000	Fluorescent light	30W 12cm	70 hours	24 hours	24 minutes
10000	Fluorescent light	30W 5cm	25 hours	8 hours	9 minutes
10000	Sunlight	Cloudy day	25 hours	8 hours	9 minutes
100000	Sunlight	Sunny day (Under the direct sunlight on a summer day)	8 hours	2 hours	3 minutes

※The table above is only provided as an approximation.

★The figures in the table above refer to the time required to charge the stopped watch by exposure to light until the watch moves at steady one-second intervals, through two-second intervals and five-second intervals.
Even if the watch is partially charged for a period shorter than the time provided in the above table, it will resume one-second interval movement, however, the one-second interval movement will change to two-second interval movement shortly. To avoid this and charge the watch to a sufficient level, use the charging time mentioned above as a measure.

※The required charging time slightly varies depending on the model of the watch.

■BEFORE INITIAL USE

Before initially using the watch, it is recommended to check the movement of the hands following the instructions below.

※To enjoy optimal performance of the radio-controlled watch, it is recommended that the watch be kept sufficiently charged at all times.

Check the movement of the second hand first.

The second hand moves at one-second intervals. → The watch is sufficiently charged. Go to “■HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR)”, to proceed to the next operation.

After completion of battery charging

The second hand moves at two-second intervals. →
The second hand moves at five-second intervals. →
The second hand is stopped. →

The watch is insufficiently charged. Refer to “■REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE”, to charge the watch sufficiently.

●Two-second interval movement, Power Save and Five-second interval movement

This radio-controlled watch enables the wearer to check the charging status by the movement of the second hand.

〈The watch moves at two-second intervals while it is worn〉

When the energy depletion forewarning function is activated, the watch starts moving at two-second intervals. If the watch continues to be in the state of two-second interval movement, the watch switches to five-second interval movement, followed by a completely stopped state. Refer to “● Standard charging time”, to charge the watch sufficiently.

※Neither the buttons nor the crown can be operated while the watch is in two-second interval movement, however, this is not a malfunction.

〈When the watch enters the Power Save modes〉

When the watch is not exposed to an adequate light source, power save function is automatically activated in order to reduce unnecessary energy consumption.

●When the watch is not exposed to an adequate light source for 72 hours or longer, the watch enters “the Power Save One” mode. When the watch is in “the Power Save One” mode, the second hand rotates to point to the 15-second position and stops.

In this state, movement of the hour and minute hands and calendar operation will cease, but the watch will continue to conduct automatic reception.

To reset the watch to display the current time, expose it to adequate light for five seconds or longer.

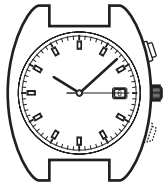
If the watch continues to be insufficiently charged, and the stored power falls below a certain level, the watch automatically switches to “the Power Save Two” mode, to limit further energy consumption. When the watch is in “the Power Save Two” mode, the second hand rotates to point to the 45-second position and stops. The watch will also stop conducting automatic reception.

When the watch enters “the Power Save Two” mode, immediately charge the watch.

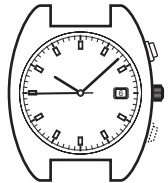
※While the watch is being charged, the second hand moves at five-second intervals.

※ If “the Power Save Two” mode is prolonged, the amount of stored power drops and the internal time settings will be lost.

In such a case, after completing battery charging (it takes a longer amount of time depending on the intensity of light), the watch resumes normal operation from 12:00 AM. Refer to “■HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR)”, to set the time and calendar.



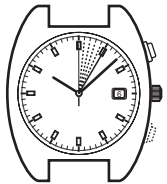
“the Power Save One” mode



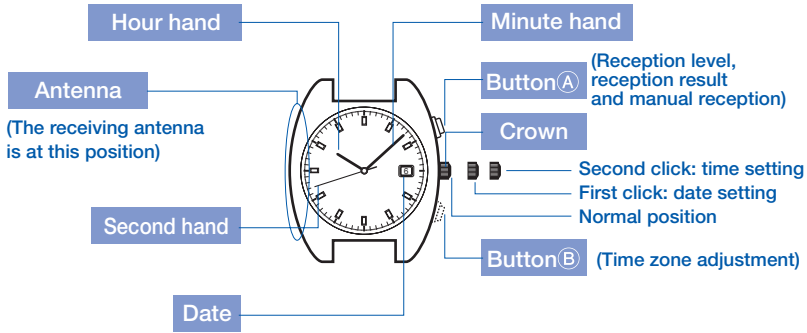
“the Power Save Two” mode

〈When the watch moves at five-second intervals〉
When the watch is insufficiently charged, it starts moving at five-second intervals.
When the watch starts moving at five-second intervals (movement of the hour and minute hands and calendar operation will stop), immediately charge the watch.
Refer to “● Standard charging time”, to charge the watch sufficiently.

※Neither the buttons nor the crown can be operated while the watch is in five-second interval movement, however, this is not a malfunction.
※While the watch moves at five-second intervals, automatic reception cannot be conducted. After the watch resumes normal operation, it is recommended that the watch be reset to the correct time by manual reception.
※When the watch continues to move at five-second intervals in an environment where the light source is insufficient for the watch to generate power, the amount of stored power drops and the internal time settings will be lost.
In such a case, after completing battery charging (it may take a longer amount of time depending on the intensity of light), the watch resumes normal operation from 12:00 AM. Refer to “■HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR)”, to set the time and calendar.



Five-second interval movement



※Button Ⓑ is recessed in the watchcase to prevent accidental input. Press Button Ⓑ using something with a long tapered tip

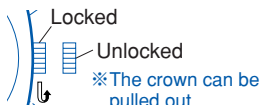
■THE SCREW LOCK TYPE CROWN

- Some models have a screw lock type crown.
- Locking the crown will prevent operating errors and will ensure that the water resistant features of the watch function correctly.
- Unscrew the crown before the crown operation. When the operation is over, screw in the crown.

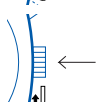
●How to operate the screw lock type crown.

- If the crown of your watch is the screw lock type crown, unscrew it before the crown operation.
- Unscrew the crown only when turning it.

【To unscrew the crown】
Turn the crown counterclockwise.
The crown can be pulled out.



【To screw in the crown】
With the crown at the normal position, turn it clockwise while pressing it.



■HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR)

- This radio-controlled watch displays precise time by automatically receiving and synchronizing itself with the JJY-LF radio signal. It is recommended that you set the time by receiving the JJY-LF radio signal before first use.
- Before proceeding to the following sections, make sure that the watch moves at normal one-second intervals. Refer to "REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE" as needed.

Operational flow

1. Setting the calendar to the preliminary position
2. Manual reception
3. Confirmation of reception result

Start to use

※If reception fails, place the watch where it can receive radio signals easily and conduct manual reception, or set the time manually, referring to "■ WHEN THE WATCH IS UNABLE TO RECEIVE RADIO SIGNALS (MANUL TIME SETTING)".

How to set the calendar to the preliminary position (Preliminary position setting for calendar)

In order to display the correct date information received from the JJY-LF radio signal, the calendar must be set to the preliminary position beforehand.

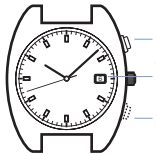
※If the preliminary position setting is performed when the watch is insufficiently charged, the watch may switch to 5-seccond interval movement. In such a case, refer to "● Standard charging time", to fully charge the watch, then try the preliminary position setting again.

※The preliminary position of the calendar is "1".

①Press and hold Button Ⓐ and Button Ⓑ simultaneously for three seconds or longer. (The crown should be at the normal position.)

※The hour, minute and second hands will stop.

※If the watch is left untouched for eight seconds or longer in this state, the watch resumes its normal operation.

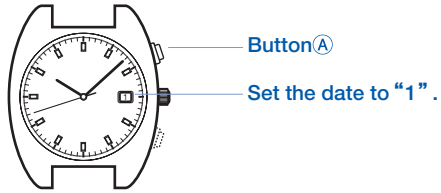


②If the watch does not display the preliminary position "1", follow the instructions below to correct the preliminary position.
Press Button Ⓐ to set the date to the preliminary position"1".

※Each pressing of Button Ⓐ advances the date by one day.

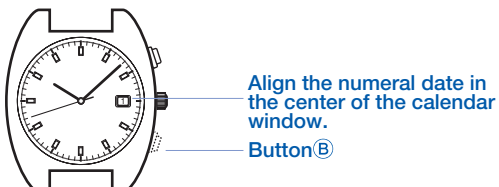
※If Button Ⓐ is kept pressed for one to two seconds, the date advances rapidly for maximum 31days. Press Button Ⓐ again to stop.

※Stop at "31"to check the alignment of the numeral date in the calendar window. If the numeral is shifted out, follow procedure 3 to set the date to "1" correcting the alignment of the numeral date.



③Press Button Ⓑ to adjust the alignment of the numeral date in the calendar window. (Only if the numeral date is shifted out of the calendar window.)

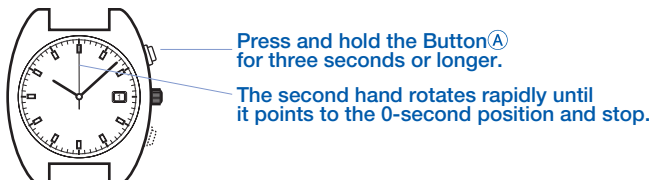
※If Button Ⓑ is kept pressed, the date advances rapidly until Button Ⓑ is released.



④After setting the date to“1”, the watch resumes its normal operation eight seconds after the button operation is completed.

●Manual reception

①Press and hold the Button Ⓐ for three seconds or longer.

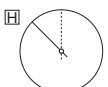
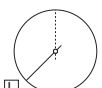
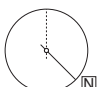

Press and hold the ButtonⒶ for three seconds or longer.
The second hand rotates rapidly until it points to the 0-second position and stop.

※If the Button Ⓐ is pressed for less than 3 seconds, the second hand moves to the 10-second position or the 20-second position to display the reception result. In this case, wait until the second hand resumes its normal movements, and then press and hold the Button Ⓐ for 3 seconds or longer.

②The watch automatically starts receiving radio signals. Put the watch where it can easily receive radio signals.
(For example, at the window and far from other electronic equipment.)
While receiving radio signals, the hour and minute hands move differently from their usual way of moving.

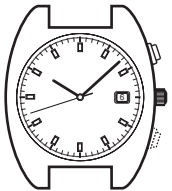
※It takes about 2 to 12 minutes for a successful reception of radio signals.
(It depends on where the watch is put.)
※Refer to "■ WHAT IS RADIO-CONTROLLED WATCH" to see where the watch can easily receive radio signals.
※Do not press Button Ⓐ while the watch is receiving radio signals, as it terminates manual reception.

★During the manual reception, the watch displays the reception level of radio signals.
・After about one minute since the watch started receiving radio signals (depending on circumstances), the second hand moves to show the reception level.
・Three degrees of reception levels will be displayed.

	Reception levels		
Degree of reception level	High	Low	Unable to receive radio signals
Display	 The second hand moves to the 50-second position.	 The second hand moves to the 40-second position	 The second hand moves to the 20-second position.
Message	The reception level is relatively high. The watch has a good chance of successful reception.	The reception level is low. The watch may not be able to receive radio signals	The watch is placed where it is unable to receive radio signals. Thus the manual reception should be stopped.

※Please note that, depending on environment in which the watch is placed, it may not receive radio signals successfully even though the reception level is high.
※Display of reception level H=High, L=Low, N=No

③When the reception is completed, hour, minute, and second hands as well as numeral date in the calendar window move rapidly to show the current time and date.

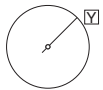
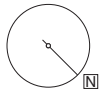


※If receiving conditions are not good enough, the watch ceases to attempt reception within 12 minutes (depending on conditions). If the watch is unable to receive a radio signal, time based on the time before the reception attempt is displayed. (Refer to "■WHAT IS RADIO-CONTROLLED WATCH?".)

④Press Button Ⓐ to view reception result.

●Display of radio wave reception result

- When the Button Ⓐ pressed while the watch is in the normal operation, the second hand rapidly moves to a position indicating the reception result.
- The last reception result (automatic or manual reception) is shown.

	Reception result display	
Reception result	Reception successful	Reception failed
Display	 The second hand moves to the 10-second position.	 The second hand moves to the 20-second position.
Message	The last reception was successful.	The last reception failed.

※The second hand stays at the above positions for 5 seconds to show the last reception result, and then automatically moves to show current time. If Button Ⓐ is pressed while the second hand is at the position of showing the reception result, the second hand moves to show current time.

※Display of radio wave reception result Y=Yes, N=No

●Automatic reception

- **The watch automatically receives radio signals between 2:00 AM and 4:00 AM, when it can easily receive the official standard frequency (JJY-LF).**
- **During the automatic reception, the second hand stays at the 0-second position.**

※During the automatic reception, place the watch where it can receive radio signals easily. Refer to"■WHAT IS RADIO-CONTROLLED WATCH?".

※If the Button Ⓐ is pressed during the automatic reception, the watch will stop receiving radio signals.

■"WHEN THE WATCH IS UNABLE TO RECEIVE RADIO SIGNALS (MANUL TIME SETTING)"

If you would like to use the watch where it is unable to receive the official standard frequency (JJY), the time and calendar can be set manually.

●How to set the time (Manual time setting)

①Pull out the crown to the second click.

※The second hand rotates until it points to the 12 o'clock position and stops.

②Press Button Ⓐ to set the time.

※Each pressing of Button Ⓐ advances the second hand by one minute, if Button Ⓐ is kept pressed, the second hand advances rapidly for the maximum range 12 hour time display. Press Button Ⓐ once again to stop.

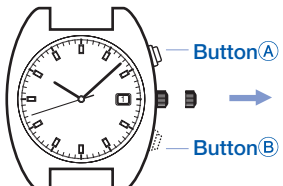
※The calendar operation is linked with the time setting. Make sure that AM/PM is correctly set.

③Push the crown back in simultaneously with a time signal

※The telephone time signal service 117 is helpful in time settings.

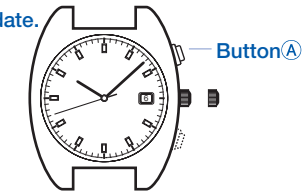
●How to set the calendar (Manual calendar setting)

①Pull out the crown to the first click.



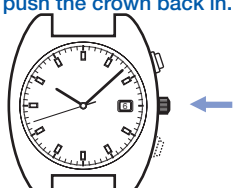
※Do not pull the crown out to the second click.

② Press Button Ⓐ to set the date.



※When Button Ⓐ is kept pressed for one to two seconds, the numeral date advances rapidly for the maximum range 31 day date display. Press Button Ⓐ once again to stop.

③After completing date setting, push the crown back in.



This watch is to be used where it can receive the official standard frequency in Japan (JJY). Please note that the manual time setting should be conducted only temporarily. It is recommended that the watch receive radio signals to set the time.
Even if the time was set manually, the watch starts receiving time signals on the official standard frequency (JJY) at regular intervals. After successful time signal reception, the watch will display the correct time and date. To display the correct date, the preliminary calendar setting must be performed beforehand.

●When the watch always shows “reception failed”

- In this case, manual reception is recommended.
  Read carefully “■WHAT IS RADIO-CONTROLLED WATCH?” before conducting manual reception.
  (Refer to “●Manual reception”.)

■WHAT IS A RADIO-CONTROLLED WATCH?

●Automatic time adjustment

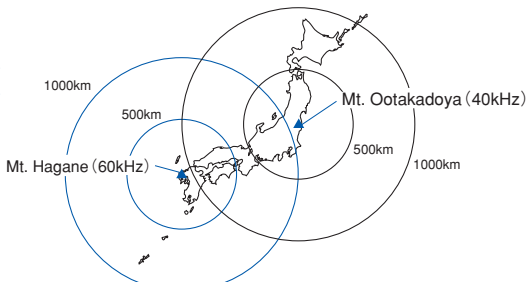
- This radio-controlled watch displays current time by receiving and synchronizing it with the official standard frequency in Japan Standard Time.

●The official standard frequency(JJY-LF)

- JJY-LF is the standard frequency that transmits time signal from Communications Research Laboratory(CRL), a national institution of Japan. There are two JJY-LF stations in Japan, and one station transmits 40kHz frequencies and another transmits 60kHz frequencies.
- Time Signal transmitted from CRL is based on a super accurate “Cesium atomic clock” that may have 1 second loss or gain per hundred thousand years.

Radio signal reception

- The reception range from JJY-LF stations are approximately 1,000km, depending on conditions. It depends on conditions, however, JJY-LF(40kHz) is easily received in Eastern Japan and JJY-LF(60kHz) is easily received in Western Japan.
- The watch may be unable to receive radio signal due to the position of the watch, the location, the time or radio disturbances such as tall buildings, climatic conditions, and geographic locations.

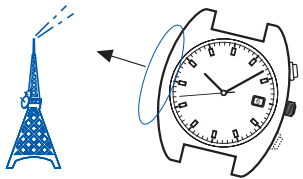


⚠Notice

- The watch may display the wrong time if it fails to receive radio signals properly because of interference. The watch may also fail to receive radio signals properly depending on the location or radio wave receiving conditions. In this case, move the watch to another place where it can receive radio signals.
- When the watch is out of reception range, its accurate quartz movement will continue to keep the time.
- The time signals transmission is stopped every hour for one minute when a call sign is being sent at 15 and 45 minutes. The transmission of time signal may also be stopped during maintenance of CRL facilities or because of a lighting strike. See CRL website (http://jjy.crl.go.jp) for further information.

Proper place to put the watch

The watch receives radio signals in the same way as a TV or radio. Keep the watch where it can easily receive signals, close to a window. Keep the watch away from objects that cause radio static.



Turn the antenna of the watch (at the 9 o'clock position) toward the direction of the JJY-LF station to receive radio signals more easily.
Leave the watch where it can receive radio signals during the automatic reception period(2:00AM ～ 4:00AM).
※To enhance the reception of radio signals, do not move the watch while it is receiving radio signals.

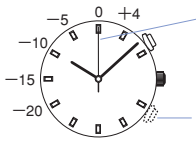
Please note that the watch may be unable to receive radio signals property under the following conditions.

a) Inside a building, between tall buildings, underground.
b) Close to overhead power lines, TV stations, train cables.
c) Close to home electrical appliances or OA devises such as TV's, refrigerators, air conditioners, air cleaners, PC's, fax machines.
※While charging the watch by using a light source from a lighting apparatus, equipment may interfere with reception of radio signals.
d) In places generating radio interference, such as construction sites, airports, military bases or heavy traffic.
e) Inside a vehicle, train, or airplane.
f) Close to furniture made of steel, such as a steel desk.

■TIME ZONE ADJUSTMENT

The watch can be set to local time in a different time zone from the Japan Standard Time
The watch automatically corrects the date accordingly.
The second hand operates as an indicator of the time difference.
※While the watch moves at two-second or five-second intervals, the time zone cannot be adjusted.

①Press Button B. The second hand indicates the time difference.



The second hand points to the 0 position: no time difference.

Button B

②Each pressing of Button Ⓐ moves the second hand forward by one-second and the hour and minute hands by one hour. Each pressing of Button Ⓑ moves the second hand backward by one-second and the hour and minute hands by one hour.

※The 0 position (12 o'clock position) indicates the Japan Standard Time.
The time difference can be adjusted within a range between + 4 hours and - 20 hours based on the Japan Standard Time.

※While the watch is set to local time in different time zones from the Japan Standard Time, automatic or manual reception of radio signals cannot be conducted.

③Upon completion of time difference adjustment, the hands move rapidly, and after 5 seconds the watch resumes its normal operation.

●Time differences with the Japan Standard Time

※Refer to the table below for time differences from the Japan Standard Time in major cities and the corresponding positions that the second hand indicates.

Names of the cities	Position that the second hand indicates	Time difference with Japan Time
Wellington★	3-second position	＋3 hours
Nouméa	2-second position	＋2 hours
Sydney★	1-second position	＋1 hours
Tokyo	0-second position (12-o'clock position)	±0
Hong Kong	59-second position	−1 hour
Bangkok	58-second position	−2 hours
Dacca	57-second position	−3 hours
Karachi	56-second position	−4 hours
Dubai	55-second position (11-o'clock position)	−5 hours
Moscow★	54-second position	−6 hours
Cairo★	53-second position	−7 hours

Names of the cities	Position that the second hand indicates	Time difference with Japan Time
Paris★	52-second position	−8 hours
London★	51-second position	−9 hours
Azores★	50-second position (10-o'clock position)	−10 hours
Rio de Janeiro★	48-second position	−11 hours
Caracas	47-second position	−12 hours
New York★	46-second position	−13 hours
Chicago★	45-second position (9-o'clock position)	−14 hours
Denver★	44-second position	−15 hours
Los Angels★	43-second position	−16 hours
Anchorage★	42-second position	−17 hours
Honolulu	41-second position	−18 hours
Midway Islands	40-second position (8-o'clock position)	−19 hours

Cities marked with "★" use daylight saving time.
※The time differences and use of daylight saving time in each city are subject to change according to the governments of the respective countries or regions.

■AUTOMATIC HAND ALIGNMENT

Automatic hand alignment is responsible for periodic checks of the hand positions and correction of any misalignments found.

Under normal operation, periodic checks of each hand position are performed once every one-minute for the second hand position, and once every twelve hours for the hour and minute hand positions.

〈Benefits of automatic hand alignment〉

- Strong shocks can cause misalignment of the hand positions
  The hand positions may move out of alignment due to strong shocks to the watch when the watch is dropped or hits against a hard surface.
  When this happens, the hand positions are automatically corrected.
- Strong magnetism can cause misalignment of the hand positions.
  The hand positions may move out of alignment due to strong magnetism generated by mobile phones, speakers, and audio equipment or other

magnetized objects.
When this happens, the hand positions are automatically corrected.

- When the watch is stopped due to complete depletion of stored power
After battery charging, all hand positions are automatically corrected, omitting the complicated procedures such as preliminary position settings, which must be performed otherwise automatic hand alignment will not function.

POWER SOURCE

The battery used in this watch is a special secondary battery, which is different from ordinary batteries. Unlike an ordinary silver oxide battery, the secondary battery does not require periodic replacement.
The secondary battery is an environmentally friendly, clean energy storage device.

⚠ Notice

When replacing the secondary battery, make sure that the exclusive secondary battery for this watch is used. Installation of an ordinary silver oxide battery can generate heat that can cause bursting or ignition.
Even when a silver oxide battery is substituted, electrical continuity cannot be obtained.

■ABNORMAL DISPLAY OR IMPROPER FUNCTION (HOW TO RESET THE BUILT-IN IC)

When the watch shows an abnormal display or does not properly function, or does not move at one-second intervals even after being sufficiently charged, follow the instructions below to reset the built-in IC. Then the watch will resume its normal operation.

●The IC reset and how to restart using the watch

①Pull out the crown to the second click.
②Press Button Ⓐ and Button Ⓑ at the same time and release.
※The hour and minute hands rotate rapidly until they point to the 12 o'clock position and stop.
※When the watch is insufficiently charged, it takes some time for the hands to move to point to the 12 o'clock position. In such a case, refer to "●Standard charging time", to charge the watch sufficiently.

①When the hands stop and point to the 12 o'clock position, push the crown back in. Refer to "■ HOW TO USE (HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR)", to set the time and calendar.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

■After-sale service

●Repair parts

○ The repair parts of this watch will be retained usually for 7 years.

○ Some alternative parts may be used for repair if necessary.

●Notes on overhaul

The watch is a precision device. If the parts run short of the oil or get worn out, the watch may stop its operation or lose time. In such a case, have the watch overhauled.

●Notes on guarantee and repair

○ Contact the retailer the watch was purchased from or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.

○ Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.

○ Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.

■Guarantee

Within one year from the date of purchase, we guarantee free repair/adjustment service against any defects according to the following guarantee regulations, provided that the watch was properly used as directed in this instruction booklet.

●Guarantee coverage

○ The watch body (movement・case) and metallic band.

●Exceptions from guarantee

In following cases, repair/adjustment services will be at cost even within the guarantee period or under guarantee coverage.

○ Change of leather/urethane/cloth band

○ Troubles or damage caused by accidents or improper usage

○ Scratches or grime caused by use

○ Problems and damage caused by acts of god, natural disasters including fire, floods or earthquakes.

○ The certificate of guarantee is valid only if all the necessary items are properly filled in. We will not honor an altered or tampered certificate of guarantee for free repair services.

Free repair services are guaranteed only under the period and conditions specified in the certificate of guarantee. It does not affect specific legal rights of a consumer. The certificate of guarantee is valid only in Japan.

●Procedure to claim free repair services

○ For any defects under guarantee, submit the watch together with the attached certificate of guarantee to the retailer from whom the watch was purchased.

○ If repair services cannot be provided by the retailer from whom the watch was purchased, contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. In this case, the attached certificate of guarantee is also needed.

●Others

○ The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced.

○ For length adjustment service of a metallic band, ask the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Other retailers may undertake the service on a chargeable basis.

■Daily care

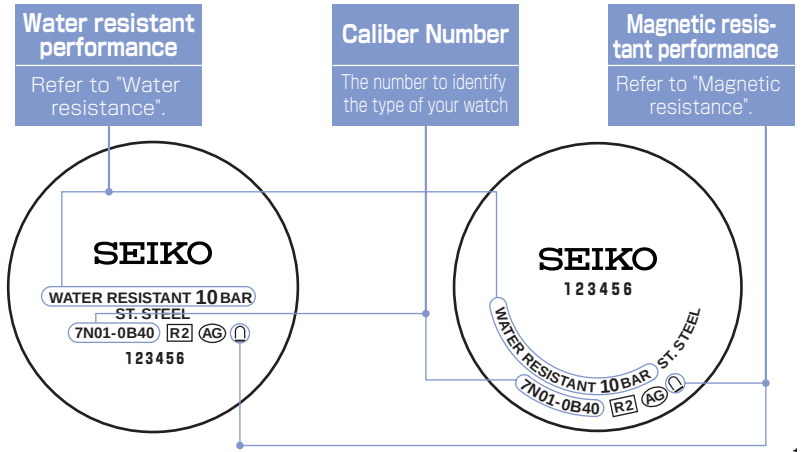
●The watch requires good daily care

- ○ Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- ○ To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- ○ After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.

●Turn the crown from time to time

- ○ In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- ○ The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)

●The case back shows the caliber and performance of your watch



Water Resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.
(Refer to " P.115 ")

Indication on the case back	Water resistant performance
No indication	Non-water resistance
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures
WATER RESISTANT 10(20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.

Condition of Use	
Avoid drops of water or sweat	
The watch withstands accidental contact with water in everyday life.	⚠ **WARNING** Not suitable for swimming
The watch is suitable for sports such as swimming.	
The watch is suitable for diving not using an air cylinder.	

⚠ WARNING

Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

⚠ CAUTION

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).

Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

⚠ CAUTION

Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.

Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

■Magnetic resistance（affect of magnetic field）

Affected by nearby magnetism,
a quartz watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

※This defective condition caused by magnetism will be corrected soon after the watch is removed from the magnetic source. Reset the time once again before using the watch.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 10 cm away from magnetic products.
∩	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
⩌	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

Examples of common magnetic products that may affect watches

Cellular phone (speaker)

Bag (with magnet buckle)

AC-powered shaver

Portable radio (speaker)

Magnetic cooking device

Magnetic health belt

Magnetic necklace

Magnetic health mat

Magnetic health pillow

etc

The reason why analogue quartz watch is affected by magnetism.

It is because the built-in motor of the watch, which harnesses magnetic power and external strong magnetism, affect each other to stop the motor or suppresses the turn of the motor.

Band (maintenance procedure)

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust.
Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

Metallic band

- ○ Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- ○ Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- ○ Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- ○ To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
  (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)

Leather band

- ○ A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- ○ Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.

Polyurethane band

- ○ A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- ○ Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- ○ Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
  (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- ○ When the band becomes less flexible or cracked, replace the band with a new one.

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.

■TROUBLE SHOOTING

Trouble	Cause	Solution
The second hand moves at two-second intervals.	The stored electric power is running short.	The watch may switch to five-second interval movement within one day. Refer to “●Standard charging time” to recharge the watch.
I wear the watch everyday but the watch often displays two-second interval movement.	The watch is in a condition where it cannot get sufficient light, for instance, the watch is concealed under long sleeve shirts.	Do not conceal the watch under a sleeve. When taking the watch off, place the watch in as bright a location as possible. *Make sure that the watch temperature is always kept below 60 ℃.
The second hand moves at five-second intervals.	The watch is insufficiently charged.	Immediately charge the watch. For details, refer to “■ REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE”.
The stopped second hand pointing to the 15-second position or 45-second position started moving.	The Power Save is activated to limit energy consumption.	If the watch moves at five-second intervals, immediately charge the watch. For details, refer to “■ REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE”.
The watch is unable to receive radio signals. The reception result displays reception failure.	The antenna of the watch is not turned toward the direction of the JJY-LF station.	Change the orientation of the watch. For details, refer to “■ WHAT IS RADIO-CONTROLLED WATCH? ”.
	JJY-LF stations may stop transmitting time signals for some reasons.	See the website of Communication Research Laboratory (CRL) (http://jjy.crl.go.jp/) for further information concerning the transmission of time signals.
	During automatic reception, the watch was left where radio signals were weak or where it could not receive radio signals. The watch was unable to receive radio signals.	Check the number of reception failures. If reception failures continue, put the watch where it can receive radio signals more easily to conduct the manual reception. Change the place to leave the watch during automatic reception between AM2:00 and AM4:00.

Trouble	Cause	Solution
The watch temporarily gains or loses time.	The watch fails to receive radio signals properly because of radio noise.	Keep the watch away from objects that cause radio noise, and put the watch where it can receive radio signals more easily to conduct the manual reception.
	The watch has been left in extremely high or low temperatures for a long time.	When the watch returns to normal temperature, the condition will be corrected. Conduct the manual reception if necessary. If the watch hands are not set to current time even after conducting the manual reception, consult the retailer from whom the watch was purchased.
	The hand positions were misaligned as a result of influence of strong magnetism or shocks.	Automatic hand alignment will be activated to correct the hand positions. For details, refer to "■ AUTOMATIC HAND ALIGNMENT".
The second hand is not correctly positioned while in the reception result display or reception level display.	The second hand is out of preliminary position.	Automatic hand alignment will be activated to correct the hand positions. For details, refer to "■ AUTOMATIC HAND ALIGNMENT". If the second hand position cannot be corrected, reset the built-in IC. For details, refer to "■ ABNORMAL DISPLAY OR IMPROPER FUNCTION". If problem still persists, consult the retailer from whom the watch was purchased.
The reception result display confirms successful reception but the wrong date is displayed.	The calendar is out of preliminary position as a result of influence of strong magnetism or shocks.	Perform the preliminary position settings for calendar. For details, refer to "● How to set the calendar to the preliminary position".

Trouble	Cause	Solution
The time displayed on the watch is several hours before or ahead of the current time.	The watch may be set to the time in different time zone from Japan Standard Time.	If it is not necessary to set the watch to the time in different time zone, reset the time to Japan Time. For details, refer to “■ TIME ZONE ADJUSTMENT”.
Manual reception cannot be conducted.	The watch may be set to the time in different time zone from Japan Standard Time.	
	The stored electric power is running short causing the watch to move at two-second intervals or five-second intervals.	Charge the watch. For details, refer to “■ REMARKS ON BATTERY CHARGING BEFORE INITIAL USE” .
The buttons or crown cannot be operated.		
The stopped watch was exposed to adequate light for a longer time than “the time required for fully charging the watch,” however, it does not resume its normal one-second interval movements.	The light is too weak or the manner of lighting the watch has been altered while the watch is being charged.	Charge the watch under an environment where the watch can be exposed to an adequate intensity of light in a stable condition.
	The built-in IC has fallen into an unstable condition.	Reset the built-in IC. For details, refer to “■ ABNORMAL DISPLAY OR IMPROPER FUNCTION”.
Blur on the dial glass persists.	Small amount of water has got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.

※For the solution of troubles other than the above, contact the retailer from whom the watch was purchased.